

第3次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の総括

(1) 第3次計画の目標と結果

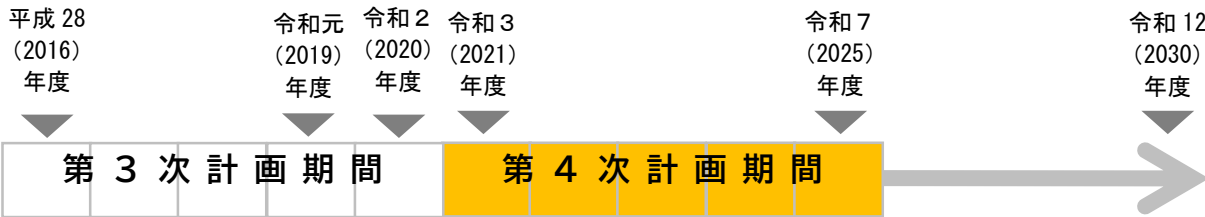
第3次計画では、平成26年度の温室効果ガス排出量 14,859t-CO₂ に対し、「令和2(2020)年度までに排出量 3.2% (470t-CO₂) 以上削減」を目標とした。

平成26年度の排出係数で算出した結果では、15,444t-CO₂ (3.9%増) となった。

令和2年度の排出係数で算出した結果では、13,943t-CO₂ (6.2%減) となった。

エネルギー使用の削減のみでは目標達成をすることができなかったため、第4次計画期間では、さらなる省エネの取組が必要となる。

(2) 第3次計画等の計画期間



(3) 温室効果ガス排出量の推移

第3次計画期間における温室効果ガス排出量実績の推移
(基準年度) (計画初年度)

	H26	H28	H29	H30	R01	R02
①公共施設の使用による排出量	14,677	14,681	15,498	14,416	14,390	13,831
②庁用車の使用による排出量	182	175	169	139	139	112
③温室効果ガス総排出量 (①+②)	14,859	14,856	15,667	14,555	14,529	13,943
基準年度比 (%)	-	0.0	5.4	-2.0	-2.2	-6.2
参考値	14,859	15,590	16,043	15,873	15,855	15,444
基準年度比 (%)	-	4.9	8.0	6.8	6.7	3.9

※「参考値」は、基準年度値と同じ排出係数(電気事業者別排出係数－平成25年度実績－平成26年12月5日公表)を用いて算出した値

(4) 公共施設における温室効果ガス排出量・エネルギー使用量

施設におけるエネルギー別温室効果ガス排出量と排出割合

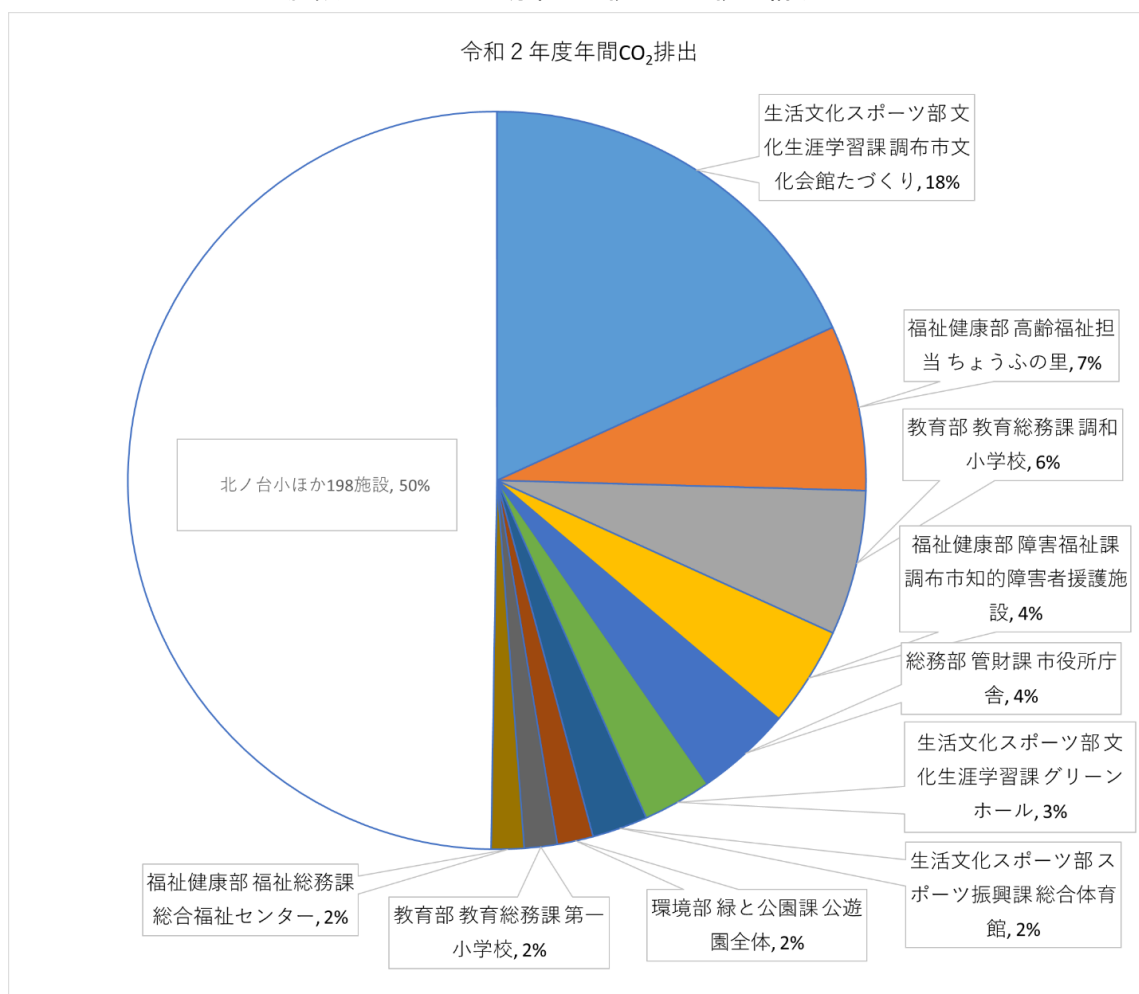
	H26(基準年度)		R02		排出量の増減	
	使用量	排出量(t-CO2)	使用量	排出量(t-CO2)	増減量(t-CO2)	増減率 (%)
①電力	21,311 千 kWh	10,565	19,617 千 kWh	8,938	-1,627	-15.40
②都市ガス	1,832 千 m ³	3,975	2,210 千 m ³	4,774	799	20.11
③LPG	0.7 千 m ³	4.4	0.2 千 m ³	1.6	-2.8	-63.64
④A重油	48.0kL	130.1	43.0kL	116.5	-13.6	-10.45
⑤軽油	0.9kL	2.3	0.1kL	0.1	-2.2	-95.65
	-	14676.8	-	13830.9	-845.9	-5.76

※ 小数点以下四捨五入により、合計値と内訳の和が合致しない場合があります。

全施設におけるエネルギー別の温室効果ガス排出割合を見ると、電力が7割程度、都市ガスが3割程度を占める傾向である。

(5) 温室効果ガスの排出の多い公共施設

施設における温室効果ガス排出量と排出構成比



※環境情報システムに入力のある施設のみ

温室効果ガスが多い上位 10 施設の排出量で、全施設の排出量の 5 割を占める。

(6) 省エネ設備改修実績

第3次計画に位置付けた省エネ設備改修等実績

施設	第3次計画期間中における省エネ設備改修等	第3次計画における予定施行年度	施工年度
総合福祉センター	空調設備の交換	H27～28	H27～28
グリーンホール	空調動力(ポンプ)のインバータ化	H27	H27
ちょうふの里	空調機外気量制御	H26	H26
文化会館たづくり	LED 誘導灯の導入	H27	H27
	氷蓄熱1次冷水ポンプのインバータ化	H27	H27
	アトリウム樹木のフェイク化	H27	H27
	LED 照明の導入	R01	
	ボイラー制御盤更新	R01	H29
公立小中学校	LED 照明の導入	H26-31	H26-31

	体育館照明 LED 化(第三小)	H27	H27
	体育館照明 LED 化(上ノ原小)	H28	H28
	体育館照明 LED 化(緑ヶ丘小)	H28	H28
	体育館照明 LED 化(神代中)	H29	H29
	体育館照明 LED 化(第三中第2体育館)	H29	H29
	体育館照明 LED 化(深大寺小)	H30	H30
	体育館照明 LED 化(石原小)	H30	H29
	体育館照明 LED 化(若葉小)	H30	
	体育館照明 LED 化(多摩川小)	H30	R01
	体育館照明 LED 化(北ノ台小)	R01	
	体育館照明 LED 化(国領小)	R01	
	体育館照明 LED 化(布田小)	R01	
	体育館照明 LED 化(第六中)	R01	R01
	太陽光発電システム導入(第五中)	H28-29	H28-29
	キュービクルの更新(第一小ほか12校)	H27-30	H27-30
図書館	LED 照明の導入(国領分館)	H27	H27
	LED 照明の導入(宮の下分館)	H27	H27
	LED 照明の導入(神代分館)	H27	H27
	LED 照明の導入(富士見分館)	H29	H29
公民館	LED 照明の導入(東部公民館)	H27	H27

計画外の省エネ設備改修等実績

施設所管課	主な施設	省エネ工事实績
文化生涯学習課	たづくりほか	H26 空調設備改修, H26GHトランス更新ほか
協働推進課	地域福祉センターほか	空調設備改修・LED 導入
男女共同参画推進課	男女共同参画推進センター	H30 空調設備改修
スポーツ振興課	総合体育館ほか	H26 空調設備改修・LED 導入ほか
子ども政策課	すこやか	H26・H27・R01 空調設備改修
保育課	各保育園	調理室改修・空調設備改修・LED 導入ほか
児童青少年課	各児童館ほか	空調設備改修・LED 導入ほか
高齢福祉担当	ちょうふの里ほか	H28LED 導入ほか
子ども発達センター	子ども発達センター	R01 調理室改修
下水道課	仙川中継ポンプ場	H26LED 導入
教育総務課	各小・中学校ほか	給食室改修・LED 導入ほか
社会教育課	八ヶ岳少年自然の家ほか	H26 厨房改修
西部公民館	西部公民館	H26 空調設備改修
北部公民館	北部公民館	R02 受変電設備撤去・LED 導入ほか
図書館	各図書館	空調設備改修ほか
郷土博物館	郷土博物館ほか	H28 空調設備改修

(7) 第3次計画を終えての課題

平成 26 年度比で CO₂ の排出は削減されたものの、エネルギーの使用は増加した。

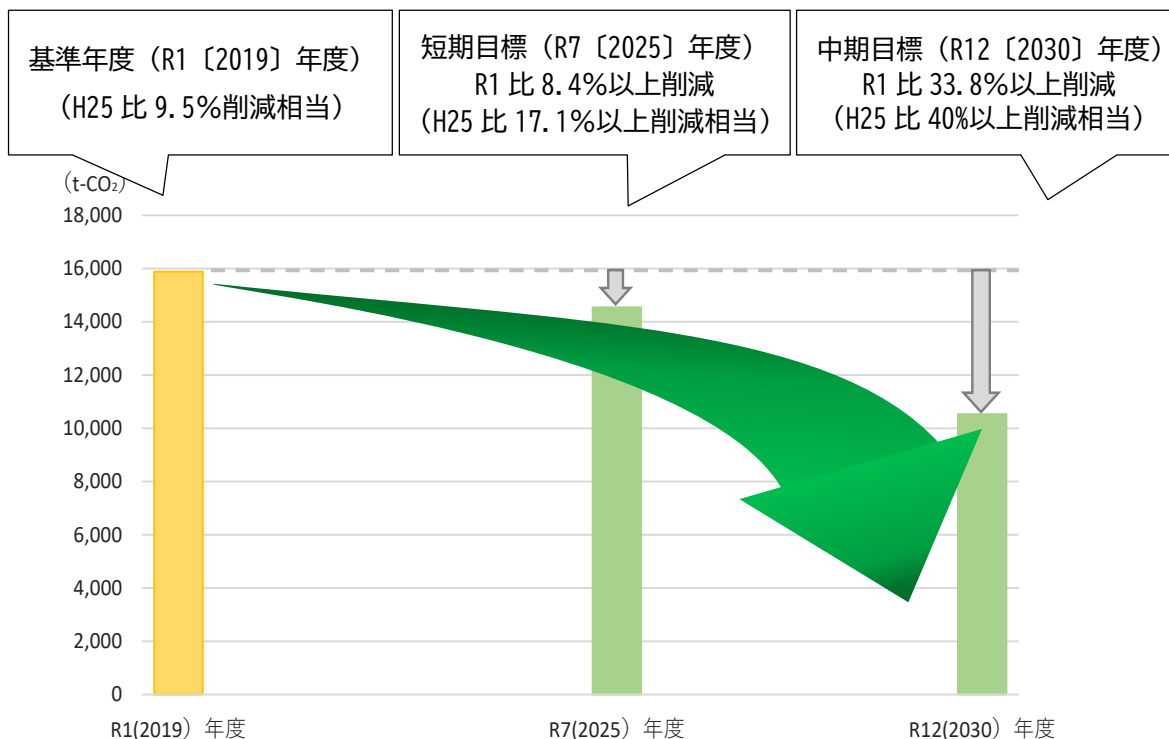
- 2050 年 CO₂ 排出ゼロを見据え、省エネの継続、再生可能エネルギー利用の拡大を進める必要がある。
 - ・引き続き、省エネルギー行動を徹底してエネルギー使用量の抑制を図る必要がある。
 - ・再生可能エネルギー利用の拡大に向けて、環境に配慮した電力調達により、排出係数が小さい小売電気事業者から電力を調達する必要がある。
 - ・脱炭素社会を見据え、再エネ 100%電力を安定的に調達していくことが望まれる。
 - ・各施設の特性にあった対策を講ずる必要がある。

(8) 第4次計画概要

第4次計画における新たな施策として、再生可能エネルギー等の積極的な活用、建物の Z E B (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) 化の検討、ゼロエミッションビークル (Z E V) の導入の推進等を行う。

<中期目標> 令和元年度の CO₂ 排出量に対し、令和 12 年度までに 33.8%以上の削減

<短期目標> 令和元年度の CO₂ 排出量に対し、令和 7 年度までに 8.4%以上の削減



令和 3 年 4 月に市議会と共同で 2050 年ゼロカーボンシティを目指すことを宣言した。

国内外で地球温暖化対策が加速化するなかで、市としても地球温暖化対策をこれまで以上に進めていく必要がある。そのため、令和 3 年度から開始した第 4 次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に基づき、新たに位置付けた様々な施策を着実に推進していく必要がある。